

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和元年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ④観光等分野 (6/6)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区(大阪府、泉佐野市)	3.6	3.8 進捗度 ・国際医療交流の推進 118% ・訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進 79%	3.6 規制の特例等 ・地域限定特例通訳案内士育成等事業 等 地域独自の取組 ・国際医療交流の拠点づくり促進補助金 ・宿泊施設設置奨励金 等	3.5	<p>・全体的には事業開始時当初から高い達成状況で推移しており、評価できる。</p> <p>・外国医師等交流や医療通訳実地研修が地元の観光に貢献しているか連関が不明。外国人観光客の属性と中身が重要であり、マーケティングに基づいた受入環境整備等をすべき。市内の観光資源の質が国際観光客が訪れるにふさわしいか見極められておらず、市内の観光資源を磨くとともに、ツアーを周辺地域に拡大するなどの方策も考えるべき。</p> <p>・今後は、医療通訳者の質の担保や相応の報酬と地位・身分の保証に取り組んでいくことを期待。</p> <p>・コロナ禍にもかかわらず、ライブ中継による取組が継続できている点は評価。今後の長期的な影響があること踏まえた進め方が望ましい。</p> <p>・外国人がん患者診療数について、対応方法を工夫して取り組んでいるものの、目標から低迷している要因を分析すべきではないか。</p> <p>・特区ガイドの活動は、案内業務支援という形で軌道に乗ってきたが、特区ガイドを活用する体験ツアーについても地場産品等を生かした体験ツアーの推進や、予約サイトでの積極的な訴求を期待している。</p>